

そこが知りたい! LINEの活用ワザ

第3回

便利な「公式アカウント」を活用する

LINEには企業などが運営する「公式アカウント」が数多く並んでいる。「友だち」になれば、企業の各種サービスをLINEから利用できる。

文：岡本 ゆかり

LINEのアカウントには、一般ユーザーが利用する通常のアカウントのほかに、企業などが運営する「公式アカウント」と呼ばれるものがある。このアカウントで最新情報やお得な割引クーポンなどを配信するといった使われ方が多い。

また、LINEならではの独自サービスを提供するアカウントもある。例えば、宅配便の再配達をLINEのトーク画面から申し込めたり、パソコンの不具合への対処方法をLINEで尋ねたりできるといった具合だ。そうした便利な公式アカウントの利用方法を解説しよう。

企業のWebサイトにはQRコード

これらの公式アカウントは、一般アカウントと同様に「友だち」になることで、そのアカウントの機能を利用できるようになる。「ウォレット」の「関連サービス」から「公式アカウント」を開き、アカウント名、アカウントIDなどで検索する(図1)。「カテゴリ」から選ぶこともできる。

目的の公式アカウントと友だちになり、トーク画面を開く。画面下部には、簡単に操作するためのメニューが表示される(図2)。任意の文字を入力するには、キーボード表示に切り替える。

●公式アカウントと友だちになる

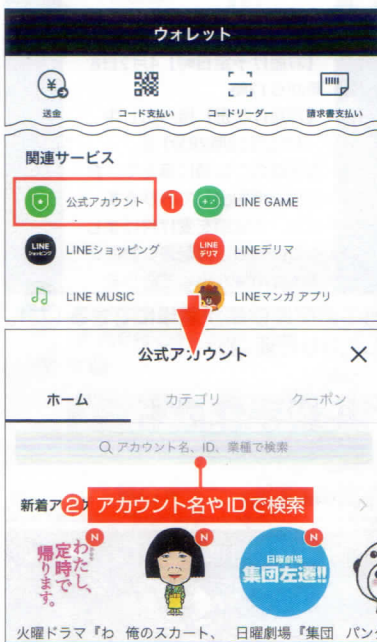


図1 「ウォレット」→「関連サービス」から「公式アカウント」をタップ。アカウント名やIDで検索したり、「カテゴリ」から選ぶなどして公式アカウントを友だちに追加する

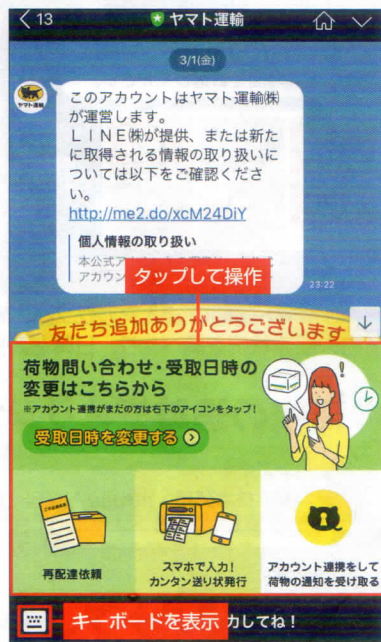


図2 公式アカウントとのトーク画面。画面下部には、簡単に操作するためのメニューが表示されている。文字や数字などを入力したいときはキーボードを表示する



図3 企業などのWebサイトには、公式アカウントを友だちに追加するためのQRコードが掲載されている場合が多い

●再配達依頼や日時変更が簡単

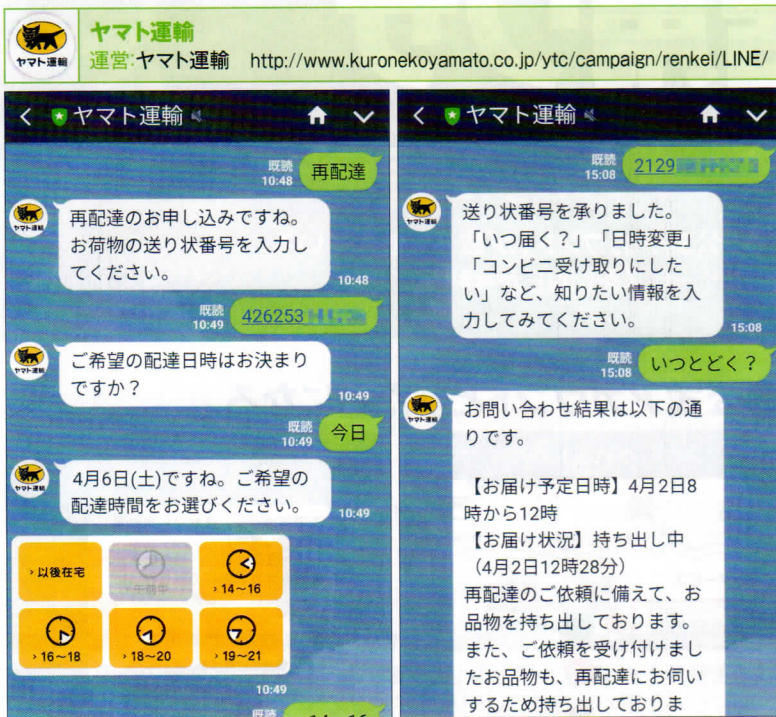


図4 ヤマト運輸の公式アカウント。荷物の再配達依頼が簡単にできる(左)。荷物の配達状況を調べたり、日時を変更したりも可能(右)

●荷物の追跡やオリジナル切手作成も



図5 日本郵便の公式アカウント。荷物を追跡したり、再配達を申し込んだりなどが可能

図6 トーク画面に画像を送信すると、その画像を使ってオリジナルの切手を作成できる

企業などのWebサイトには、公式アカウントと友だちになるためのQRコードが掲載されている場合が多い。LINE「公式アカウント」画面で見つからないものもあるので、そのときはWebサイトのQRコードから追加しよう(図3)。

宅配便の再配達を依頼できる

友だちになると便利な公式アカウントを紹介しよう。まずは、クロネコヤマトでおなじみの「ヤマト運輸」。不在のために荷物を持ち帰られた場合の再配達依頼や、配達状況の問い合わせ、受け取り日時の変更がLINEから手軽に行える。公式アカウントをLINEに追加し、同社のWebサービス「クロネコメンバーズ」のIDと連携させる。クロネコメンバーズに未登録の場合、友だち追加後の画面から新規登録が可能だ。

伝票番号を入力し、「再配達」「いつ届く」など、自然な言葉で話しかければよい(図4)。荷物の配達予定日や不在時の連絡も、LINEで通知してくれる。

「ぼすくま」は、日本郵便の公式アカウントだ。こちらも、再配達依頼や荷物の追跡をLINEのトーク画面から行える。同社の「ゆうびんID」と連携させると、荷物の配達予定日や不在時の連絡がLINEで通知される。

自分で撮影した画像を使ってオリジナル切手を作れるユニークな機能がある(図6)。画像をトーク画面に送信するだけでよい。料金は、82円切手×10枚で1シート1230円だ。

「Swing Bot」は、GmailやYahoo!メール、キャリアのメール、プロバイダーの



メール、Twitterのダイレクトメールなど、さまざまなメールをLINEで受け取れるサービス(図7)。自分のメールアカウントと連携させよう。初期設定では、主要なメールだけを通知するので、煩わしい広告メールなどは通知されない。

さらに便利なのは、LINEのトーク画面から届いたメールに返信できる点だ。メールサービスごとに専用アプリを起動して返信する手間が不要(図8)。

Googleアカウントと連携させると、Googleカレンダーの予定やToDoリストの内容を確認できる。メニューボタンからタップするか、「今後の予定」「タスク」などと話しかければよい(図9)。

LINEでリマインドを通知する

「リマインくん」は、うっかり忘れてしまいそうな用件をリマインドしてくれるアカウントだ。カレンダーやToDoアプリなどにもリマインド機能はあるが、通知に気付かないこともある上、10分後に誰かに電話するといった細かな用事をわざわざ登録するのも面倒だ。LINEなら頻繁に利用するので通知を見逃しにくく、トーク画面でリマインドを簡単に設定できる。用件の内容と、いつ知らせたいかを送信しよう。「毎月25日」などの指定も可能だ(図10)。

「LINE英語通訳」は、LINEを翻訳アプリのように使える便利なアカウント。ほかに、中国語、韓国語のアカウントもある。英語の文章や単語を送ると日本語に、日本語を送ると英語に翻訳してくれる(図11左)。英語のニュースなどを読む際、分からない文章や単語を調べたり

●さまざまなメールをLINEで通知

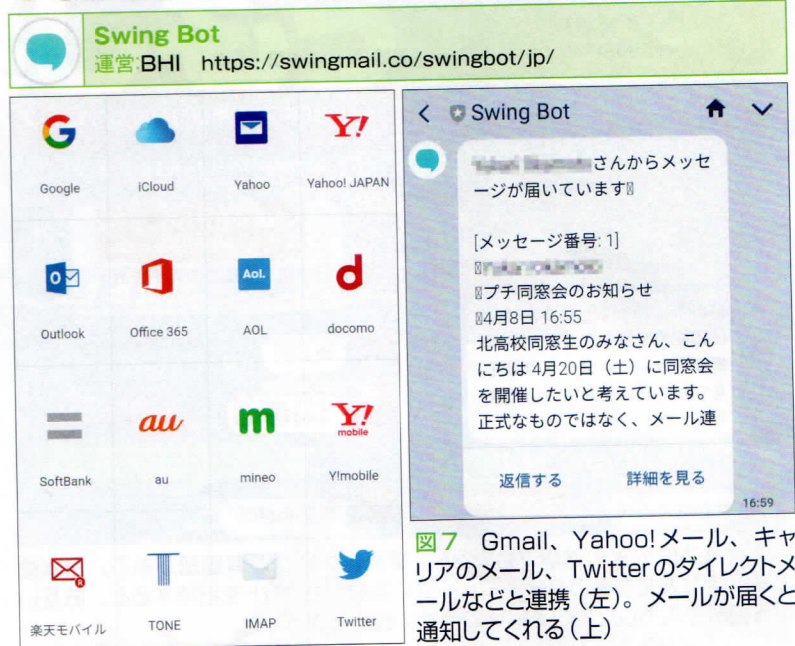


図7 Gmail、Yahoo!メール、キャリアのメール、Twitterのダイレクトメールなどと連携(左)。メールが届くと通知してくれる(上)

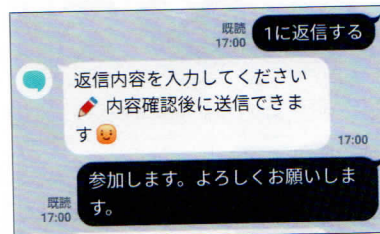


図8 図7右のメッセージで「返信する」をタップすると、トーク画面からそのまま返信できる

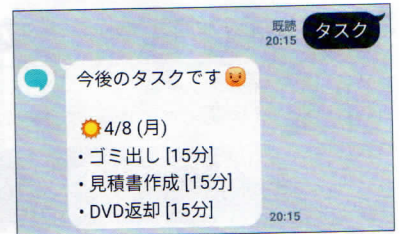


図9 Googleカレンダーなどの予定やToDoリストの内容をトーク画面で確認できる機能もある

●忘れないようリマインドしてくれる

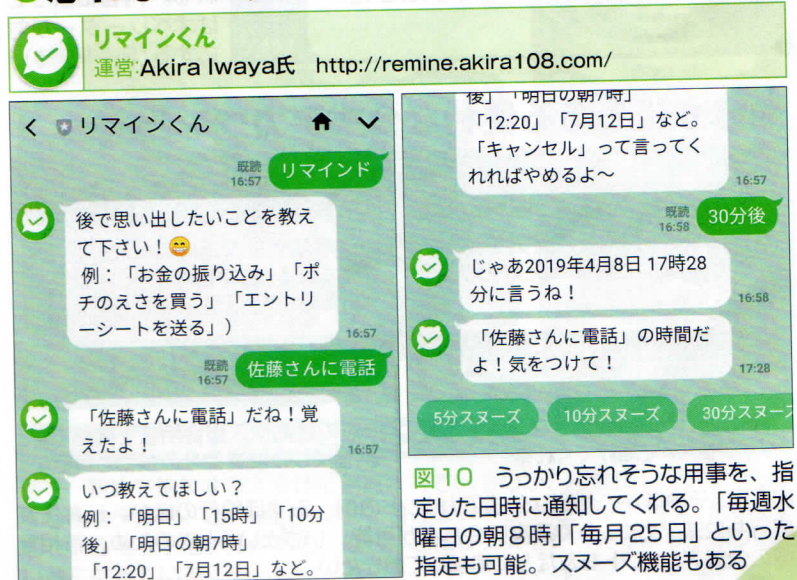


図10 うっかり忘れそうな用事を、指定した日時に通知してくれる。「毎週水曜日の朝8時」「毎月25日」といった指定も可能。スヌーズ機能もある

● 言語を相互に翻訳できる

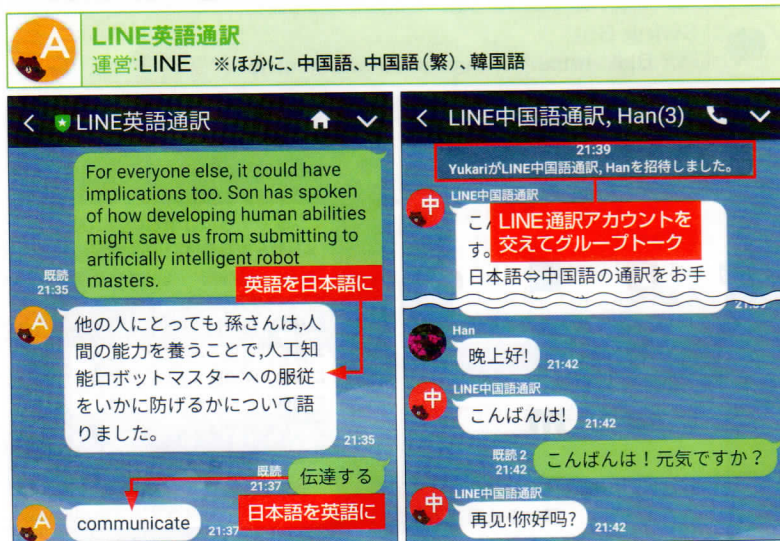


図11 LINE公式の通訳アカウント。英語、中国語、韓国語がある。日本語の不得手な友だちとのグループトークに通訳アカウントを招待すると、お互いが母国語で入力した言語を相手の言葉に翻訳できる

● LINEでのサポートなら24時間OK

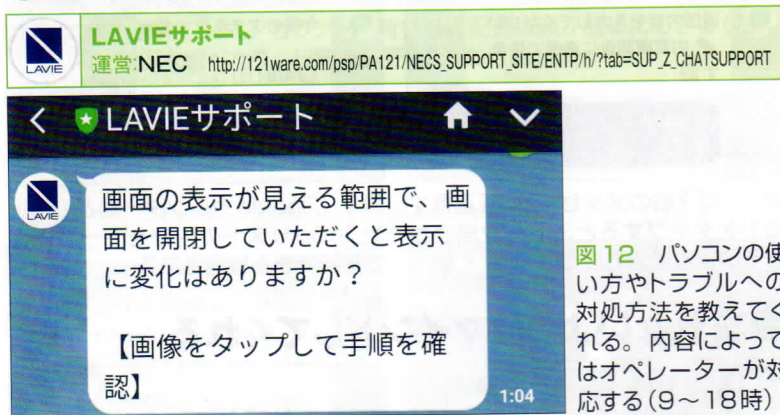


図12 パソコンの使い方やトラブルへの対処方法を教えてくれる。内容によってはオペレーターが対応する(9~18時)

● ほかにある便利な公式アカウント

<p>LINEお天気 @lineotenki</p> <p>場所名を入力すると、天気を教えてくれる。指定した時間に天気を知らせてくれる機能も</p>	<p>首相官邸 @kantei</p> <p>政策情報や災害時の情報などを知らせてくれる。首相自身からのメッセージもある</p>
<p>LINE NEWS @linenews</p> <p>1日3回、その日の大きなニュースをダイジェストで届けてくれる</p>	<p>みずほ銀行 @mizuhobank</p> <p>口座の残高や入出金明細を確認できる。宝くじの抽選番号の検索も可能</p>

図13 そのほかの便利な公式アカウントの例。みずほ銀行のほか、三井住友銀行も公式アカウントで残高照会などが可能。いざというときのため、首相官邸の公式アカウントも友だちに追加しておきたい

できる。海外旅行先で即座に単語の意味を調べたいときにも役立つだろう。

日本語が不得手な友だちと、母国語のままトークするのも使える。自分、友だち、LINE通訳でグループトークを始める。すると、通訳アカウントが互いの言語を相互に翻訳する(図11右)。

サポート窓口もLINEに対応

パソコンの操作や設定方法が分からない、故障したかもしれないといったとき、従来ならサポート窓口で電話で問い合わせる必要があった。なかなか電話がつかずなかったり、忙しくて受付時間内に電話する暇がないといった経験をした人は多いだろう。現在は、LINEでサポートを提供するメーカーが増えている。

例えば、NECの「LAVIEサポート」は同社のパソコンLAVIEシリーズの操作方法、トラブルへの対応をLINEから簡単に尋ねることができる。LINEなら24時間問い合わせが可能だ(図12)。故障など、内容によってはオペレーターが対応する。その場合は受付時間内の返答となるが、電話で待たされるよりずっと便利だ。

NEC以外にもパソコンメーカーでは、デル、日本HP、マウスコンピューターなど、LINEトークを活用した相談窓口を設けている企業は多い。

そのほかにも、友だちに追加しておきたいお薦めの公式アカウントはいろいろある(図13)。LINEの公式アカウントを利用すれば、専用アプリのインストールや起動が不要であり、LINEアプリ1つで済ませることができるので便利だ。